
宮崎県への県外来訪者の周遊動向分析
～「県内を全然回っていない！」は本当か～

2023年10月

株式会社日本政策投資銀行
南九州支店

<目次>

P.1・・・目次

P.2・・・はじめに（調査の目的及び調査結果概要）

1. 県外来訪者の周遊動向まとめ

P.4・・・1-1. 県外来訪者の概況（新型コロナの影響について）

P.5・・・1-2. 県外来訪者の居住地の分布

P.6・・・1-3. 高千穂峡への来訪者における周遊動向と県外来訪者・属性別周遊率について

P.7・・・1-4. 鶴戸神宮への来訪者における周遊動向と県外来訪者・属性別周遊率について

宮崎市中心部と鹿児島市中心部への来訪者における周遊動向について

P.8・・・1-5. 前頁までの調査内容まとめ

P.9・・・1-6. 分析結果踏まえた来訪者増加に向けた提言

2. スポーツキャンプが与える影響について～月別の来訪者数の推移から～

P.11・・・2-1. 2019年の月別県外来訪者の推移

P.12・・・2-2. スポーツ(プロ野球キャンプ)施設関連調査

3. （補足データ集）エリアごとの周遊動向及び周遊者の属性分析

P.15・・・データ① 宮崎市中心部への来訪者における周遊動向

P.16・・・データ② 鶴戸神宮への来訪者における周遊動向

P.17・・・データ③ 高千穂・鶴戸神宮への県外来訪者の属性分析、

高千穂峡への来訪者における「鶴戸神宮」との属性別周遊率

P.18・・・データ④ 宮崎市中心部・高千穂峡・鶴戸神宮への県外来訪者の属性分析、

宮崎市中心部への来訪者における「高千穂峡・鶴戸神宮」との属性別周遊率

P.19・・・データ⑤ 別府・黒川温泉・湯布院への県外来訪者の属性分析、

高千穂峡への来訪者における「別府・黒川温泉・湯布院」との属性別周遊率

P.21・・・データ⑥ 鹿児島市中心部・指宿・霧島温泉街・霧島神宮付近への県外来訪者の属性分析

鹿児島市中心部への来訪者における「指宿・霧島温泉街・霧島神宮付近」との属性別周遊率

P.23・・・データ⑦（参考）インバウンド調査アンケート

P.24・・・4. GPS位置情報ビッグデータ分析ツールと分析条件について

P.27・・・5. （参考）各エリアの対象エリア（地図）

①はじめに（調査の目的・概要）

- 本調査は、新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」という) 流行前の2019年時点での、宮崎県外から県内主要観光地及び隣県観光地（温泉地等）への来訪者（インバウンド客を除く）の周遊率・属性について調査したものである。（調査方法の詳細は、P24以降を参照）
- 調査のきっかけは、筆者（宮崎市出身）が宮崎県内所在の事業者と対話する中で、県外からの来訪者がなかなか県内を周遊していないという話をよく伺ったことにある。宮崎県は南北に長く、公共交通機関の整備状況等も踏まえれば、周遊は容易ではないことが背景と考えられるが、本調査は、その実態がどうなっているのか、データから読み解いたものである。
- 本調査では、携帯の位置情報を基にした人流データの分析について、DBJデジタルソリューションズ株式会社・ビジネス戦略部の協力を得て行っている。
- 具体的な調査箇所は、宮崎県が毎年行っている「宮崎県観光入込客統計調査結果」を基に、観光客数が多い県内の主要な観光地として、県北、県央、県南からそれぞれ高千穂峡、宮崎中心部、鶴戸神宮をエリア選択し、当該エリアへの来訪者における県内外の観光地等との周遊動向（周遊率）や属性別の周遊率を整理している。
- 2023年度は、新型コロナ禍から観光需要が本格的に回復することが見込まれる。新型コロナ以前における人流や特徴についてまとめた本調査が、各事業者や自治体が行う今後の観光関連施策等において、一助になれば幸いである。

②調査結果概要

- 県内の主な周遊率(各着目エリアへの来訪者が、どの程度周遊候補先に併用して来訪（同じ月の中で30分以上滞在）しているか）は下表の通り。
 - ・ 高千穂峡への来訪者における各地との周遊率は、鶴戸神宮や宮崎中心部までが12～13%。
 - ・ 高千穂峡への来訪者における隣県（温泉街）との周遊率は、大分・湯布院温泉街までは18%、熊本・黒川温泉街までは10%となっており、県内他観光地より高いエリアも存在。
 - ・ 鶴戸神宮への来訪者における各地との周遊率は、青島神社56%、宮崎中心部35%、高千穂峡18%と、県南の鶴戸神宮、県央の青島神社、宮崎中心部間での周遊率は比較的高い。
- 他県（鹿児島県）の周遊動向との比較
 - ・ 隣県で宮崎県と同じく観光地が分散している鹿児島県の場合においても、鹿児島市中心部への来訪者における指宿や霧島温泉街との周遊率も同様の水準であり、宮崎県における周遊率が低いわけではない。

【主な周遊率】

主要観光地等（着目エリア）	周遊候補先	周遊率※1	距離(°)※2
高千穂峡	鶴戸神宮	13.4%	180
	宮崎市街地	12.1%	140
	湯布院	18.5%	110
	黒川温泉	9.9%	70
鶴戸神宮	高千穂峡	18.2%	180
	宮崎市街地	34.9%	40
	青島神社	56.2%	25
宮崎市中心部	高千穂峡	5.8%	140
	鶴戸神宮	12.2%	40
	青島神社	17.9%	20
鹿児島市中心部	霧島温泉街	4.4%	60
	指宿	12.1%	45

※1 着目エリアと周遊候補先との併用（同時）来訪者/着目エリアへの来訪者 ※2GoogleMap上での通常距離概算

1. 県外来訪者の周遊動向まとめ

(参考) マップ上の数値の読み方

【分析条件】

- ・期間：2019年(1年間)
- ・宮崎県居住者を除く
- ・30分以上の滞在者
- ・月ユニークによる計測

【凡例】

- 各地点来訪者数(グレーボックス内)

〇〇万人

- 併用来訪 (青地部分)

上段：着目エリアとの併用来訪者数
下段：着目エリアを100%とした場合
の併用来訪者割合

〇.〇万人
(〇.〇〇%)



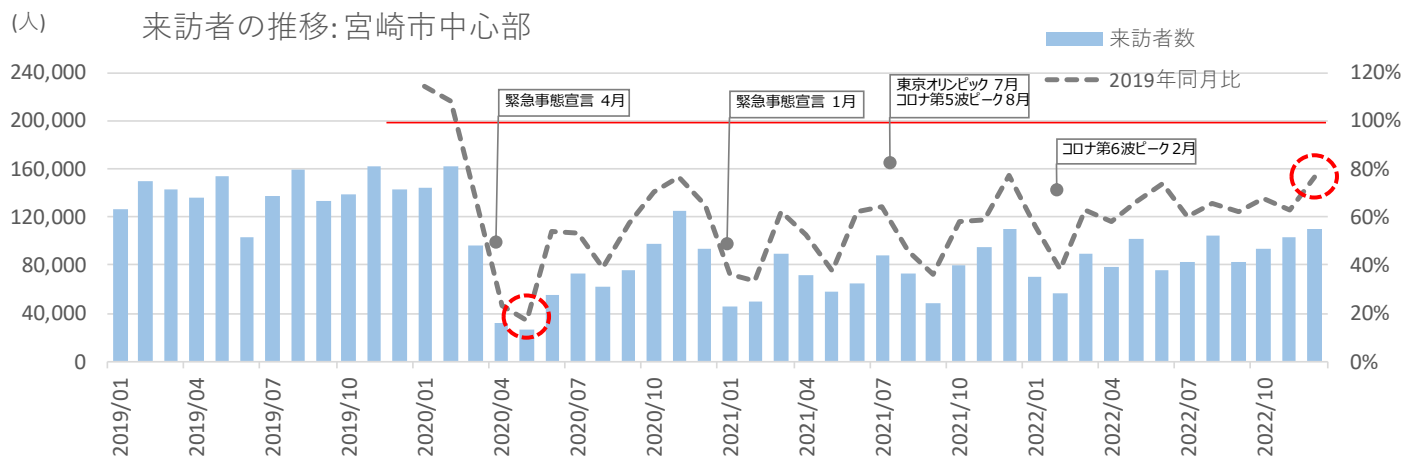
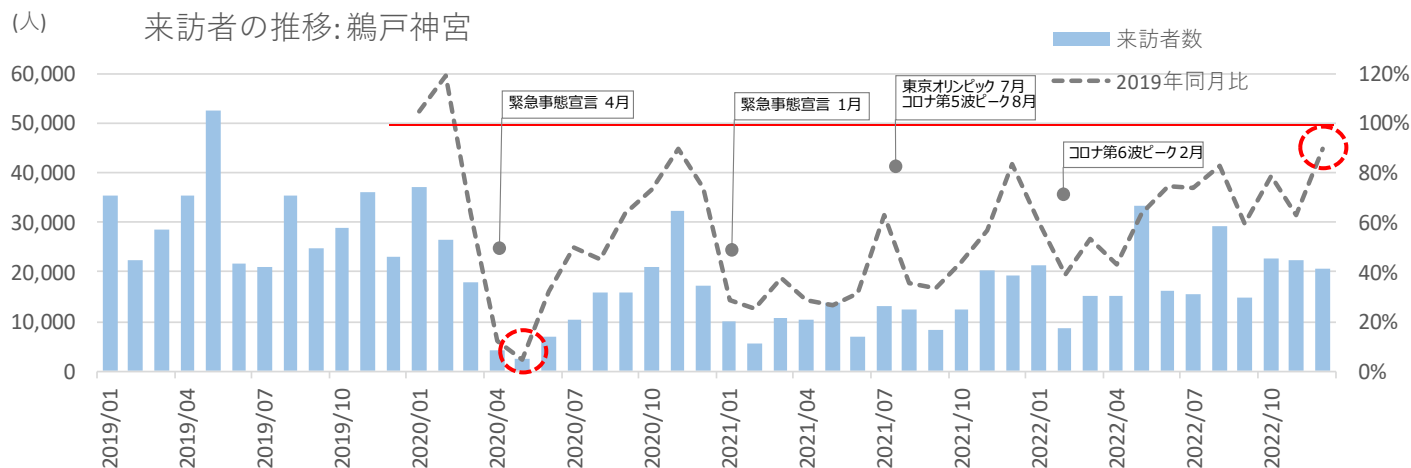
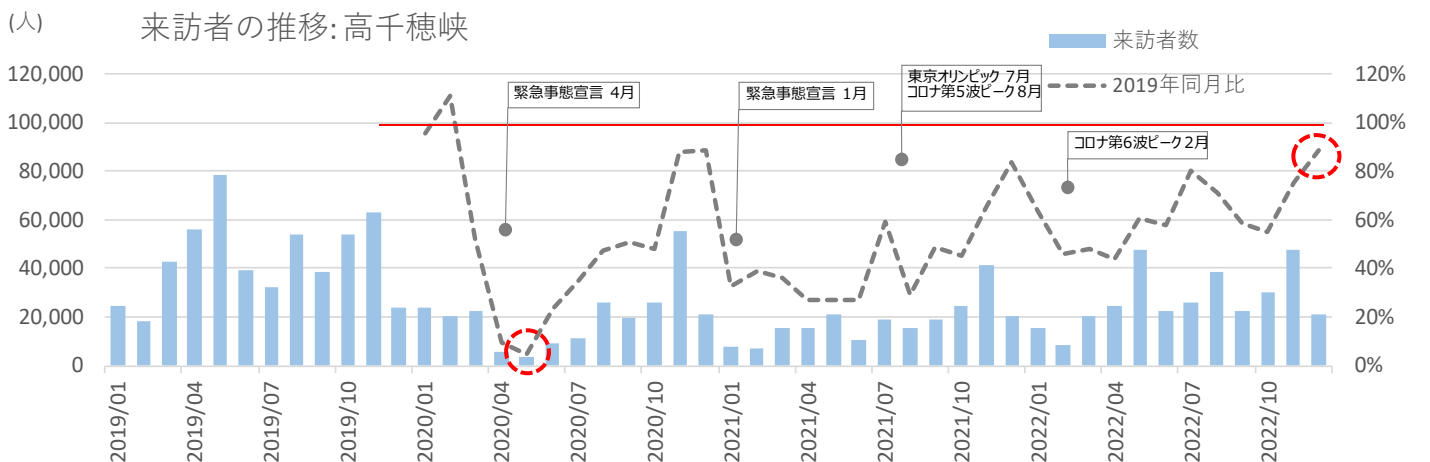
上記、鵜戸神宮のケース（6ページより引用）であれば、

- ・鵜戸神宮への県外来訪者数(グレーボックス内)：36万人
- ・高千穂⇄鵜戸神宮の周遊(併用来訪)者(青地数字)：6.5万人
- ・高千穂峡への来訪者における鵜戸神宮との周遊率(%)：13.41%
(高千穂・鵜戸神宮の併用来訪者/高千穂峡への来訪者数で計算)

1-1. 県外来訪者の概況（新型コロナの影響について）

・下表は、高千穂峡、鵜戸神宮、宮崎市中心部への県外来訪者の2019年～2022年末までの県外訪問者の推移をまとめたものである。

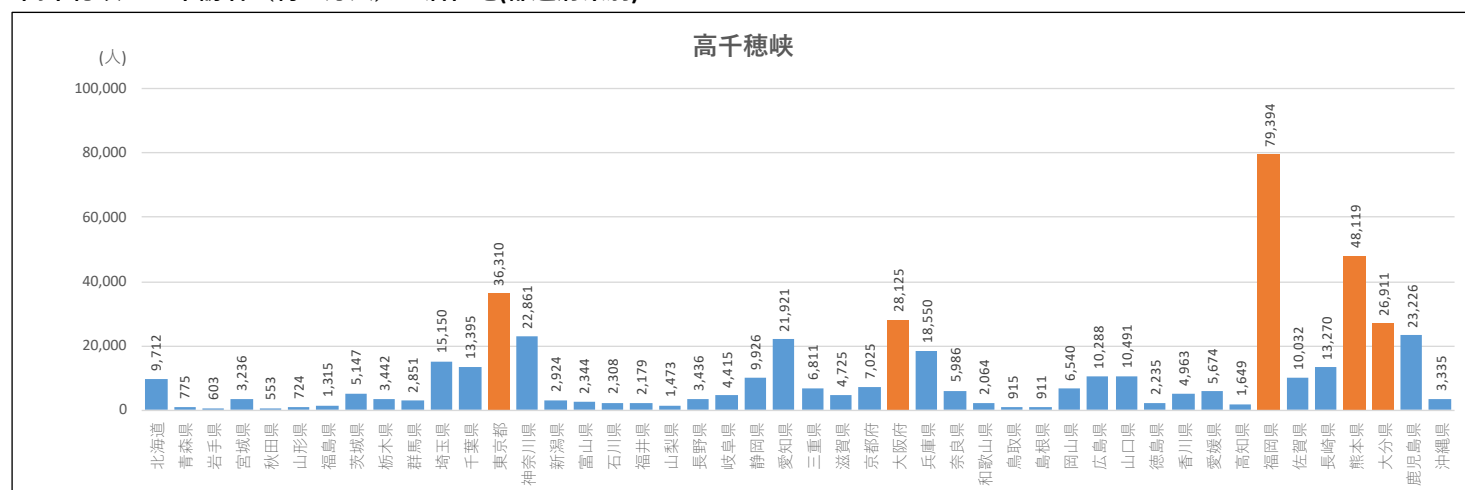
・赤丸箇所の通り、当該3か所共通して2020年4月・5月には新型コロナの初の緊急事態宣言により1割（2019年同月比）程度まで減少、その後も感染状況等に影響されながら低調で推移してきたが、2022年12月末程度には8～9割（同上）程度まで回復している。国内来訪者に加え、今夏以降のインバウンドの回復も含めれば、来訪者は更なる増加が期待される。



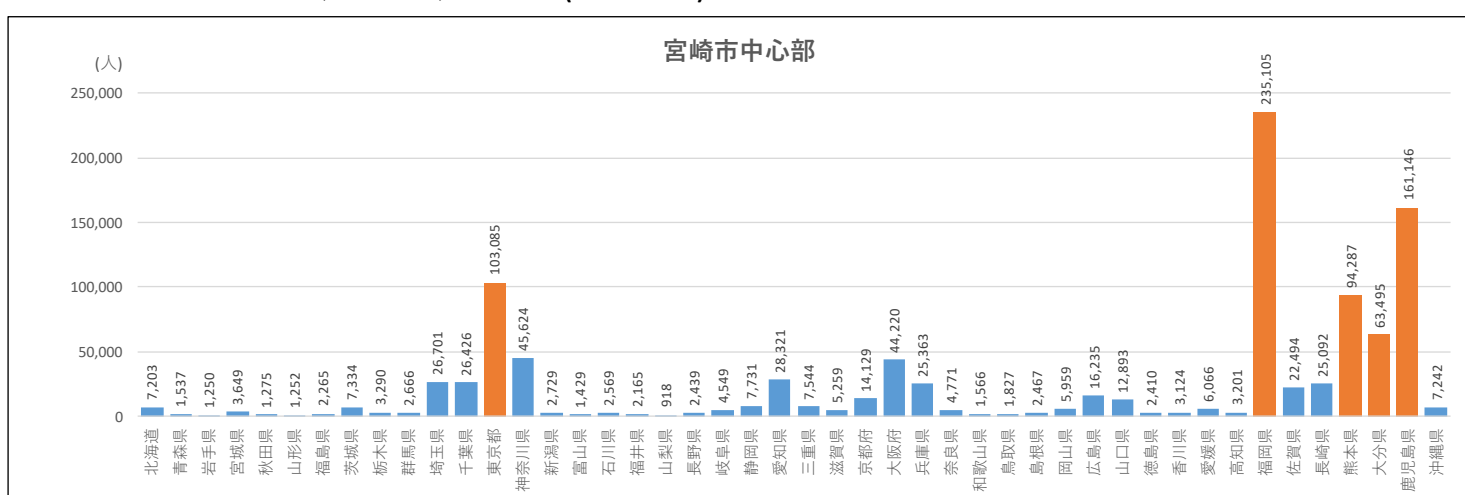
1-2. 県外来訪者の居住地の分布

- ・下表は、高千穂峡と宮崎市中心部への都道府県別来訪者数をまとめたものである。
- ・高千穂峡、宮崎市中心部ともに福岡県居住者が最多となっており、地理的に近い九州各県その他、東京・神奈川等の首都圏、大阪、兵庫、愛知等の都市圏が次いで多くなっている。
- ・高千穂峡への来訪者49万人に対し、宮崎市中心部は100万人超と宮崎市中心部の方が来訪者総数では2倍以上となっているが、北海道や東北地方、北陸地方等の特に遠方の県については、高千穂峡への来訪者が上回る（乃至同規模の来訪者数の）道県も複数あり、改めて宮崎県を代表する観光地であることが示されている。

高千穂峡への来訪者（約49万人）の居住地(都道府県別)



宮崎市中心部への来訪者（約105万人）の居住地(都道府県別)



(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

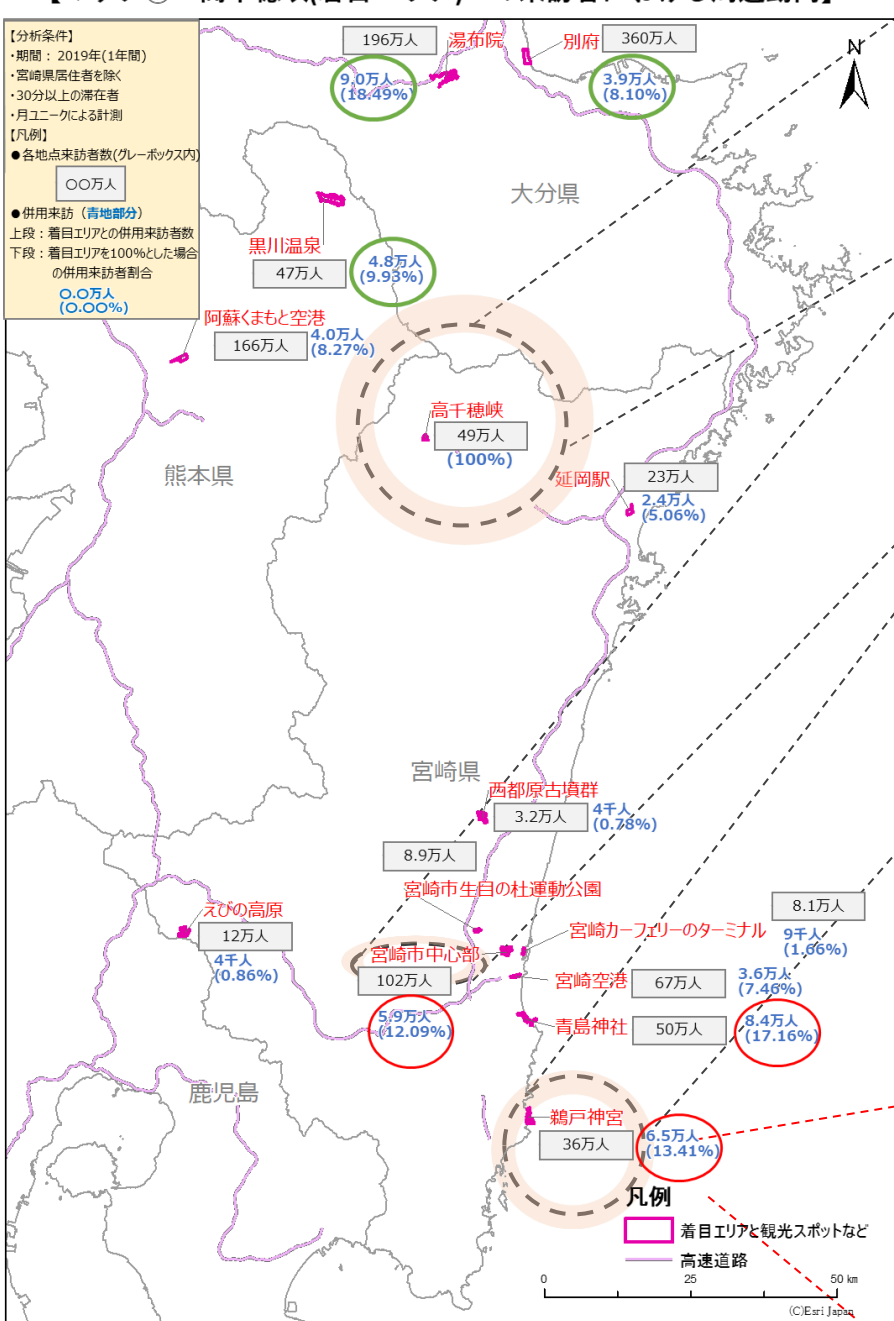
1-3. 高千穂峡への来訪者における周遊動向と県外来訪者・属性別周遊率

・マップ①は、2019年の高千穂峡への県外来訪者49万人における周遊動向をまとめたものである。高千穂峡への来訪者における周遊率（及び各地との併用来訪者数）は高千穂峡→宮崎市中心部：12.1%（5.9万人）、青島神社：17.2%（8.4万人）、鶴戸神社：13.4%（6.5万人）となっている。

・一方、大分・熊本の温泉街との周遊率（及び各地との併用来訪者数）は黒川温泉：9.9%（4.8万人）、湯布院：18.5%（9.0万人）、別府：8.1%（3.9万人）の3か所単純合計約36%と県内観光地を上回る周遊率が確認できる。また各温泉地の宮崎県外の来訪者数は湯布院（196万人）、別府（360万人）と高千穂峡から車で1時間半～2時間程度の距離に大きな市場が存在していることが分かる。

・図1は高千穂峡への県外来訪者、図2は宮崎市中心部への県外来訪者、図3は鶴戸神社への県外来訪者の各属性をまとめたものである。高千穂峡は60代以上の割合が高いが、鶴戸神社は特段年齢層に偏りはなく、両地点ともに性別別については男女偏りなく来訪していることが分かる。宮崎市中心部は、ビジネス目的の来訪者も多いと思料され、30代～50代を中心とした男性が多い。

【マップ①：高千穂峡(着目エリア)への来訪者における周遊動向】



【図1】【高千穂峡(着目エリア)への来訪者(49万人)属性】

年代	来訪者数(人)		性別合計	構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性		男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,550	58,843	6.23%	5.87%
40代	33,683	33,245	66,928	6.92%	6.83%
50代	34,510	37,843	72,353	7.09%	7.78%
60代	53,761	54,407	108,168	11.05%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.87%	14.57%
合計	232,946	253,558	486,504	47.88%	52.12%

【図2】【宮崎市中心部(約102万人)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)		性別合計	構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性		男性(%)	女性(%)
20代	103,794	74,119	177,913	10.15%	7.25%
30代	118,102	60,976	179,078	11.55%	5.96%
40代	141,531	67,539	209,070	13.84%	6.61%
50代	130,000	56,946	186,946	12.72%	5.57%
60代	90,696	52,482	143,178	8.87%	5.13%
70歳以上	67,682	58,451	126,133	6.62%	5.72%
合計	651,805	370,513	1,022,318	63.76%	36.24%

【図3】【鶴戸神社への来訪者(36万人)属性】

年代	来訪者数(人)		性別合計	構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性		男性(%)	女性(%)
20代	26,731	29,171	55,902	7.45%	8.13%
30代	27,109	30,232	57,341	7.56%	8.43%
40代	31,789	30,353	62,142	8.86%	8.46%
50代	27,003	27,646	54,649	7.53%	7.71%
60代	31,491	30,415	61,906	8.78%	8.48%
70歳以上	27,109	39,745	66,854	7.56%	11.08%
合計	171,232	187,562	358,794	47.72%	52.28%

・図4は、高千穂峡への来訪者における鶴戸神社との属性別の周遊率についてまとめたものである。全体の周遊率が13.4%程度である中で、20代女性の周遊率が23%と高い。

【図4】【高千穂峡来訪者における鶴戸神社への属性別周遊率※】

年代	男性	女性	性別合計
20代	14.59%	23.22%	18.97%
30代	14.08%	15.43%	14.73%
40代	15.77%	14.89%	15.34%
50代	11.85%	12.25%	12.05%
60代	11.22%	12.72%	11.98%
70歳以上	9.37%	12.64%	11.25%
合計	12.33%	14.40%	13.41%

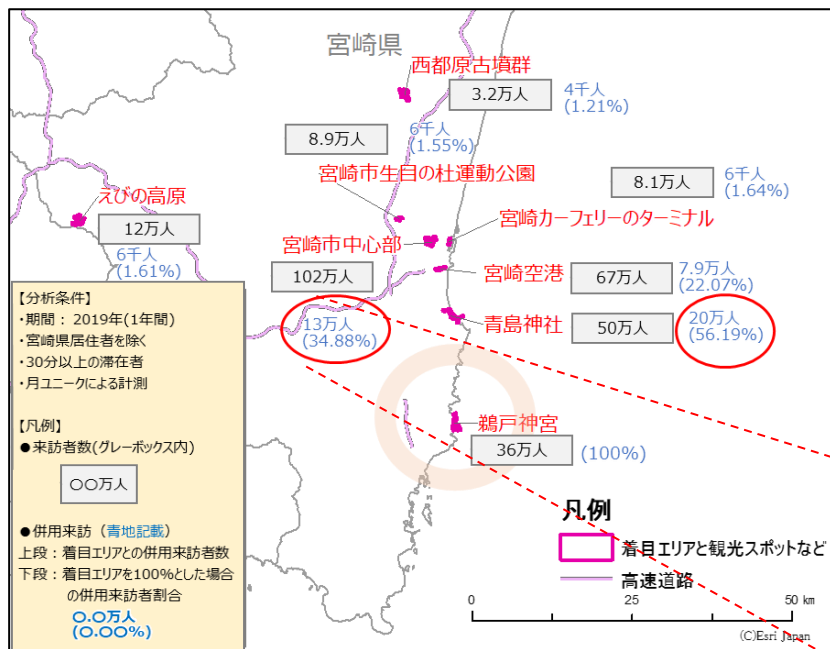
※「宮崎カーフェリーのターミナル」は、15分以上の滞在者とする。
また、同地点の併用来訪率を求める際は、着目エリアも15分以上の滞在者とする。

(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(高千穂峡)の来訪者)

1-4-1. 鵜戸神宮への来訪者における周遊動向と県外来訪者・属性別周遊率について

【マップ②：鵜戸神宮(着目エリア)への来訪者における周遊動向】



・マップ②では、鵜戸神宮への県外来訪者(36万人)における周遊動向についてまとめている。鵜戸神宮への来訪者における各地との周遊率は、青島神社：56%、宮崎市中心部：35%程度であり、県南(鵜戸神宮)～県央(青島神社、宮崎中心部)の相應の周遊を確認できる。(P16で詳細参照)

・図5は、鵜戸神宮への来訪者における宮崎市中心部との属性別周遊率をまとめている。周遊率は全体で35%程度、属性別では20～40代は40%程度以上と高い。

(図5)【鵜戸神宮来訪者における宮崎市中心部への属性別周遊率※】

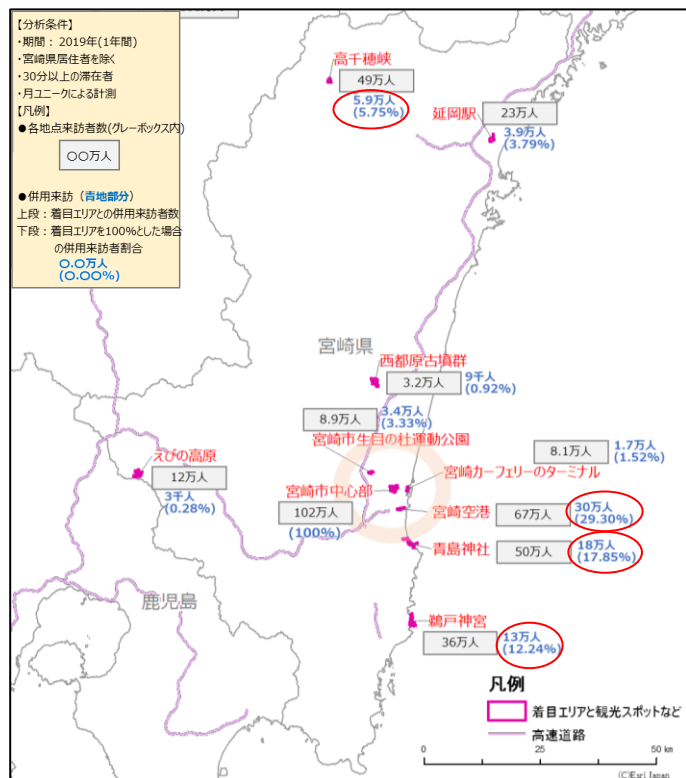
年代	男性	女性	性別合計
20代	40.1%	45.4%	42.9%
30代	42.4%	36.4%	39.3%
40代	41.4%	37.9%	39.7%
50代	37.8%	32.3%	35.0%
60代	33.8%	26.3%	30.1%
70歳以上	27.1%	22.4%	24.3%
合計	37.1%	32.8%	34.9%

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(鵜戸神宮)の来訪者)

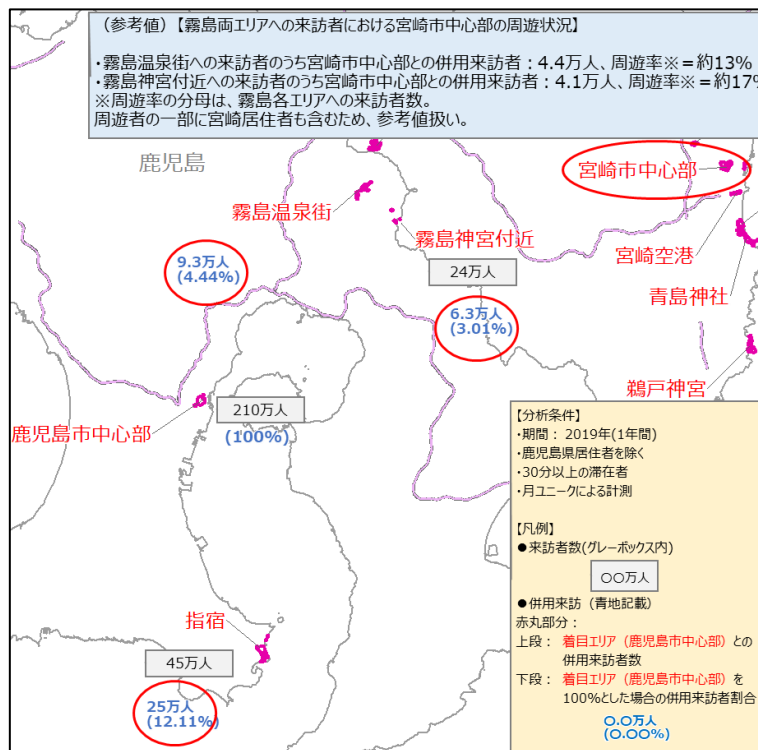
1-4-2. 宮崎市中心部と鹿児島市中心部への来訪者における周遊率について

- ・マップ③は、宮崎市中心部への来訪者における周遊動向である(P15で詳細参照)。鵜戸神宮：12.2%、高千穂峡：5.8%程度。
- ・マップ④は、宮崎県との比較として鹿児島市中心部への来訪者210万人(鹿児島県県民居住者以外の来訪者数)の周遊動向をまとめている。鹿児島市中心部への来訪者における各地との周遊率は指宿：12.1%、霧島温泉街：4.4%、霧島神宮付近：3.0%程度である。
- ・マップ④上に、(宮崎県県民居住者の一部を含むため)参考値となるものの、霧島温泉街及び霧島神宮付近(以下、「霧島両エリア」)への来訪者のうち、宮崎市中心部との周遊率は、約1～2割程度に留まっている。

【マップ③：宮崎市中心部への来訪者における周遊動向】



【マップ④：鹿児島市中心部への来訪者における周遊動向】



1-5. 前頁までの調査内容まとめ

(1) 2023年度は、観光需要の本格的な回復が期待される。

- 新型コロナ発生直後は、緊急事態宣言等の影響もあり2019年対比で1割程度まで来訪者数が大きく減少。その後、2022年末頃には9割近くまで回復しており今夏以降も（インバウンド客も含め）堅調な回復が見込まれる。

(2) 本県南北（高千穂峡～鶴戸神宮）の周遊率は13%程度。特に20代女性の周遊率が高い。

- 県の南北の主要観光地間における（高千穂への来訪者における鶴戸神宮との）周遊率は13%程度。隣県鹿児島県と比較した場合、統計の母数は異なるものの、同程度の周遊率であった。また、20代女性の周遊率が他世代より高いとの分析結果が得られている点は特筆すべき点であるが、宮崎県が進めるデトックス旅・女子旅等のPRが奏功し、アクティブな若い世代の観光・周遊需要の喚起に一定の成果が得られているとの評価できるのではないかと。

(3) 高千穂峡への来訪者における大分・熊本の温泉街との周遊率は高いが、大分・熊本温泉街への来訪者と高千穂及び県北エリアへの周遊は伸びしろあり。

- 高千穂峡への来訪者における周遊率について、黒川・湯布院・別府合計で36%程度であり、同時来訪の場合等も集計されている可能性もあるが、延岡駅周辺や宮崎市中心部との周遊率よりも高い結果となった。一方で、当該温泉地への来訪者において高千穂峡や延岡等県北エリアに周遊していない来訪者も相応に確認された。また、温泉街と一概に言っても各世代ともに一定の周遊率は確認でき（P19、P20参照）、各世代に向けた周遊者の増加に向けた取り組みが期待される。

(4) 県央～県南エリア（宮崎市中心部～青島神社～鶴戸神宮）の周遊率は比較的高い。

- 宮崎市中心部、青島神社、鶴戸神宮の県央～県南エリアの周遊率は比較的高くなっている。特に鶴戸神宮への来訪者における青島神社との周遊率は6割程度であり、宮崎市中心部との周遊率は20～40代まで40%程度周遊している。足許数年でも青島エリアの開発等が行われていることを踏まえれば、宮崎市中心部と青島神社（青島エリア）の周遊率は更に高まっていることも想定される。

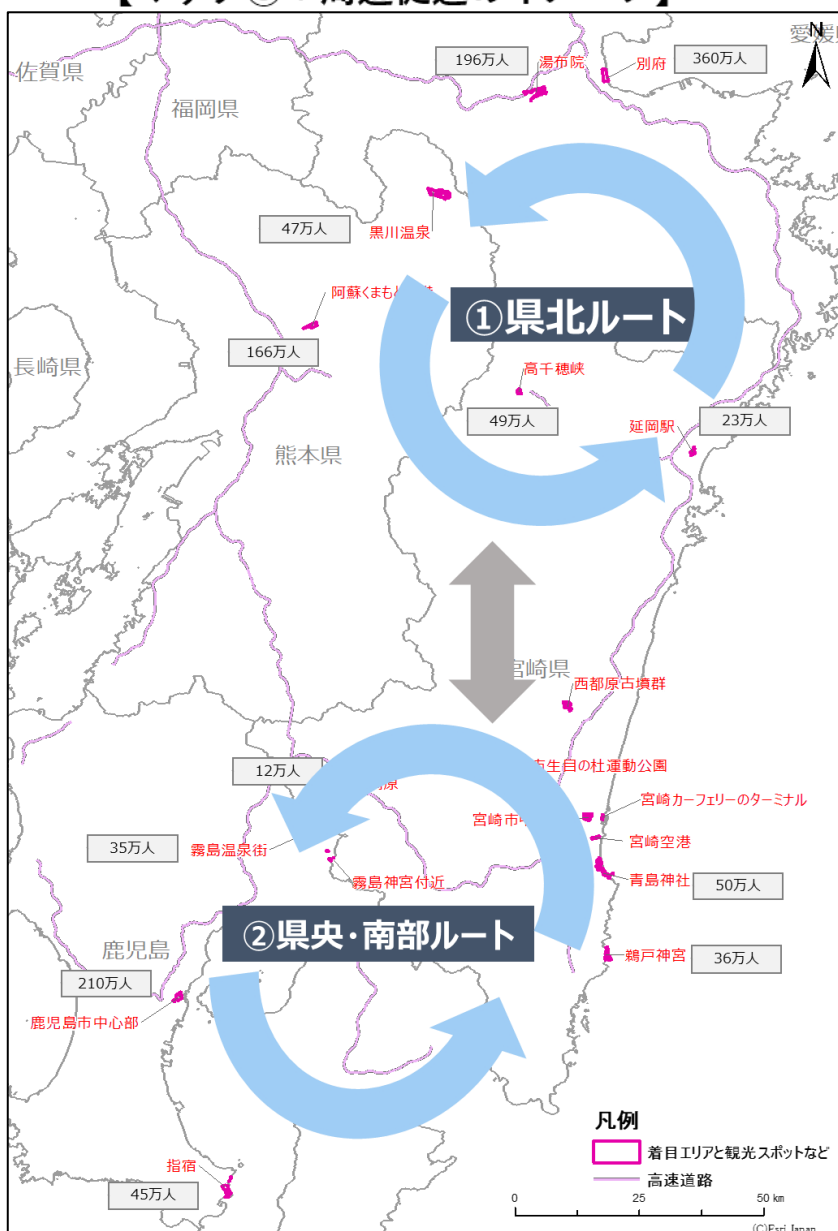
(5) 霧島両エリア～宮崎市中心部の周遊率は1～2程度であり、鹿児島・霧島エリアの来訪者のチャンス獲得へ

- 霧島両エリアへの来訪者における宮崎市中心部との周遊率は、一部宮崎県居住者も含んだうえで、1～2割程度にとどまっております、霧島両エリア及び鹿児島中心部から宮崎市中心部へと周遊需要を促すことによって、さらなる観光需要の取り込み機会につながる可能性が考えられる。

1-6. 分析結果踏まえた来訪者増加に向けた提言

- 本調査により、本県の南北の周遊率は13%程度と鹿児島県のケースと比較し著しく低い状況でないことが分かった。
- 今後さらに周遊率を高め、観光需要を取り込んでいくうえで、県内における周遊促進に向けた各施策の継続的な取り組み等に加えて、本調査で得られた周遊動向結果を踏まえ、特に宮崎県への来訪経験がない国内客やインバウンド向けに①「県北ルート」②「県央・南部ルート」の2ルートの周遊需要を喚起することを提案したい。
- 九州各県では欧米からのインバウンド客の増加も計画しているが、P23記載の通り欧米諸国における知名度は各県ともに現状低く、インバウンド客の知名度向上やのびしろの確保に向け、各県が連携する余地があると思料される。

【マップ⑤：周遊促進のイメージ】



(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

① 県北ルート

＜現状＞

- ・高千穂峡来訪者の熊本・大分の温泉街との周遊率は一定高いものの、当該温泉街には宮崎へ来訪していない層が相当数おり、車で1～2時間程度の距離に誘致対象となるマーケットが存在。

＜方向性＞

- ・各温泉街から県北の高千穂・延岡・五ヶ瀬・日之影等への周遊のきっかけを作るべく「温泉+α」での周遊しやすさのPRが想定される。
- ・延岡観光協会を中心にPRしているコンセプト「中心部から30分で別世界」（サーフィンやシュノーケリング等のアクティビティやフルーツツアー等）の更なるアピールや県北の観光資源（世界農業遺産、神楽、ダム、工場、古民家ツアー等）を併せてPRする取組等が想定される。

② 県央・南部ルート

＜現状＞

- ・宮崎県の県南～県央部分の周遊率は高いが、霧島両エリア（乃至鹿児島市中心部）と宮崎市中心部の周遊率は低い。

＜方向性＞

- ・両県の食や気候等の共通点と空港の位置関係を活用し、宮崎空港（宮崎カーフェリー）→宮崎県央・南部→霧島エリア→鹿児島空港→（鹿児島中心部）（及びその逆）での周遊促進が想定される。

- ・鹿児島県と宮崎県は「南国」と称されることが多いが、新潟、群馬、長野県の一部の市町村で、世界へ「雪国観光圏」として雪国文化を伝承・発展させるべく各地の観光地の連携や商品開発等を行う事例等もあり、宮崎・鹿児島で「日本の南国観光圏」として、食文化や観光地のPR、両空港利用の割引等による南国観光ルート周遊促進を図ること等が想定される。

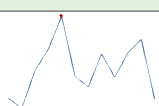
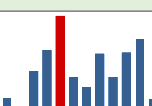
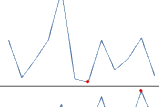
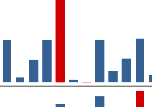
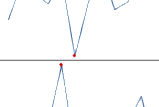
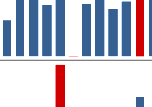
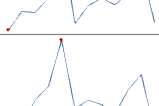
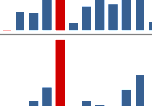
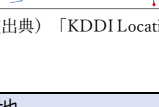
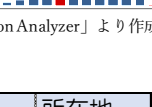
2. スポーツキャンプが与える影響について ～月別の来訪者数の推移から～

2-1. 2019年の月別県外来訪者の推移

- ・下表は、2019年1年間の月別に、主要観光地3か所への県外来訪者数及び宮崎市中心部⇄鶴戸神宮・高千穂峡の2か所の併用来訪者数を掲載したものである。
- ・宮崎市中心部への来訪者の推移については、旅行シーズンの5月、8月及び年末年始に加えて、プロスポーツキャンプシーズンの2月、ゴルフシーズンの11月の来訪者数が多い。
- ・高千穂峡と鶴戸神宮への来訪者数の推移については、観光シーズンの5月が最多、次いで8月、11月が多くなっている。一方で、宮崎市中心部が増加する2月は少なくなっている。
- ・下表の通り、本年もプロ野球・サッカーともにキャンプ会場は宮崎市等の県央部分が多くなっており、2月のキャンプ時期は宮崎市が局地的に多いことが推察される。

主要観光地点の来訪者月次推移

単位：人

日時	2019/01	2019/02	2019/03	2019/04	2019/05	2019/06	2019/07	2019/08	2019/09	2019/10	2019/11	2019/12	推移の概要	推移概要
高千穂峡	24,862	18,401	42,548	56,223	78,429	39,018	32,194	53,878	38,443	54,252	63,243	24,007		
鶴戸神宮	35,423	22,286	28,382	35,338	52,623	21,829	20,861	35,318	24,887	28,930	35,964	23,213		
宮崎市中心部	76,484	90,833	86,647	82,456	93,218	62,321	82,891	96,289	80,581	83,617	98,505	86,157		
同時来訪 鶴戸神宮・宮崎市中心部	6,161	9,091	8,904	11,331	20,905	7,173	10,001	11,250	10,216	11,731	15,831	7,406		
同時来訪 高千穂峡・宮崎市中心部	1,382	1,660	4,969	6,566	12,403	3,965	4,961	4,414	3,180	6,275	8,114	1,111		

(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

プロ野球 宮崎キャンプ一覧

球団名	キャンプ地	所在地
福岡ソフトバンクホークス	生目の杜運動公園	宮崎市
読売ジャイアンツ	ひなたサンマリノスタジアム宮崎	宮崎市
オリックス・バファローズ	宮崎市清武総合運動公園	宮崎市
東京ヤクルトスワローズ	西都原運動公園野球場	西都市
埼玉西武ライオンズ	宮崎県南郷中央公園野球場	日南市
広島東洋カープ	日南市堂天福球場、東光寺球場	日南市
東北楽天ゴールデンイーグルス	お倉ヶ浜総合公園野球場	日向市

(出典：(一社)日本野球機構HP 2023年春季キャンプ地一覧よりDBJ作成)

Jリーグ 宮崎キャンプ一覧

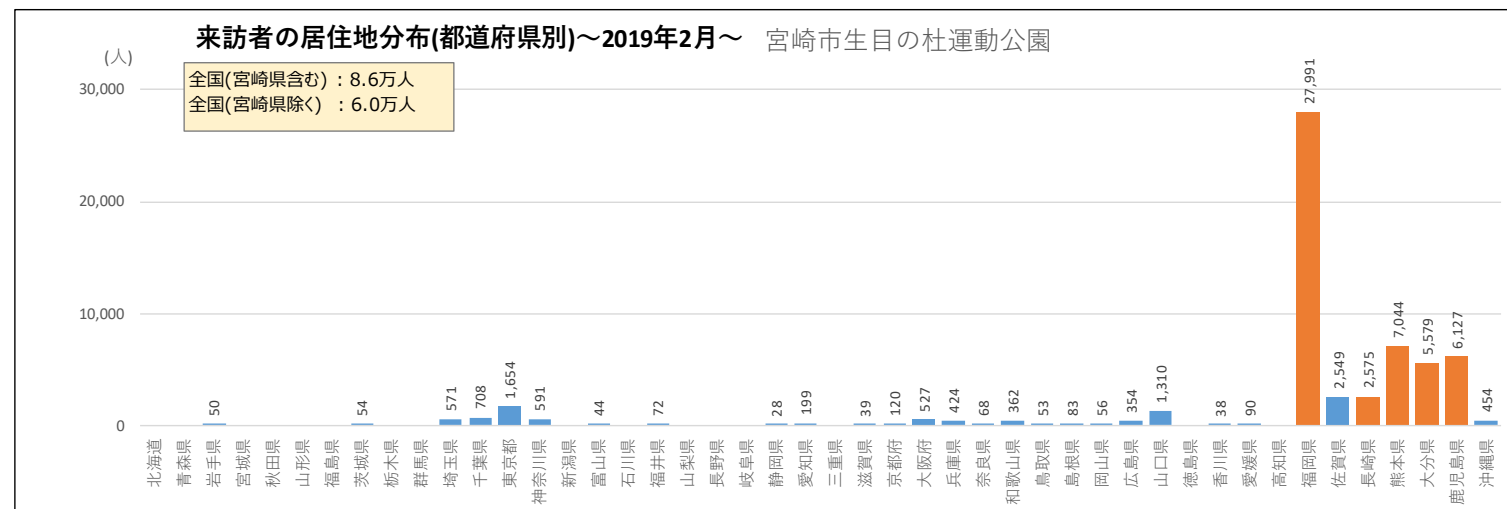
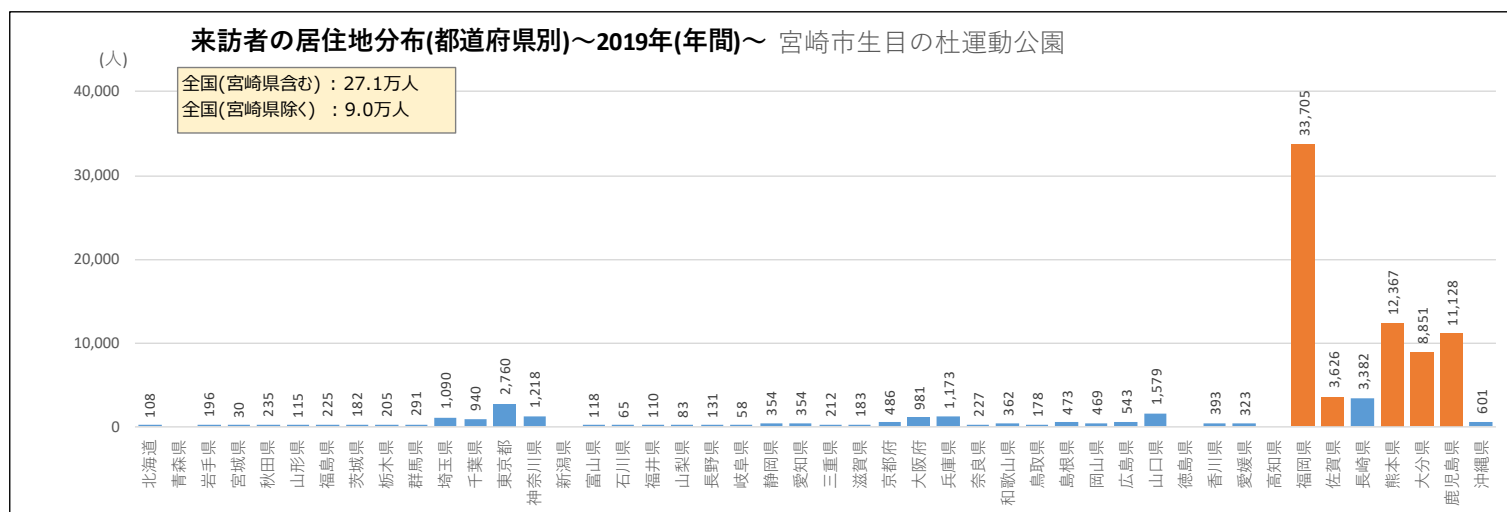
クラブ名	キャンプ地	所在地
鹿島アントラーズ	ひなた宮崎県総合運動公園	宮崎市
ファジアーノ岡山	〃	宮崎市
徳島ヴォルティス	〃	宮崎市
FC岐阜	〃	宮崎市
横浜F・マリノス	シーガイアスクエア	宮崎市
サンフレッチェ広島	〃	宮崎市
アビスパ福岡	生目の杜運動公園	宮崎市
横浜FC	清武総合運動公園	宮崎市
セレッソ大阪	国際海浜エントランスプラザ	宮崎市
FC町田ゼルビア	錦原運動公園	綾町
ガイナレ鳥取	〃	綾町
ヴァンフォーレ甲府	小田爪陸上競技場	綾町
FC今治	〃	綾町
V・ファーレン長崎	清水台総合公園	西都市
ベガルタ仙台	西階陸上競技場	延岡市
FC東京	高城運動公園	都城市
ツエーゲン金沢	〃	都城市

(出典：(公)宮崎県観光協会HP Jリーグキャンプ情報2023よりDBJ作成)

2-2-1. スポーツ(プロ野球キャンプ)施設関連調査(生目の森運動公園)

・下表は、スポーツキャンプ関連として、生目の森運動公園の県外来訪者の2019年通年とキャンプ時期である2月のみのデータを比較したものである。

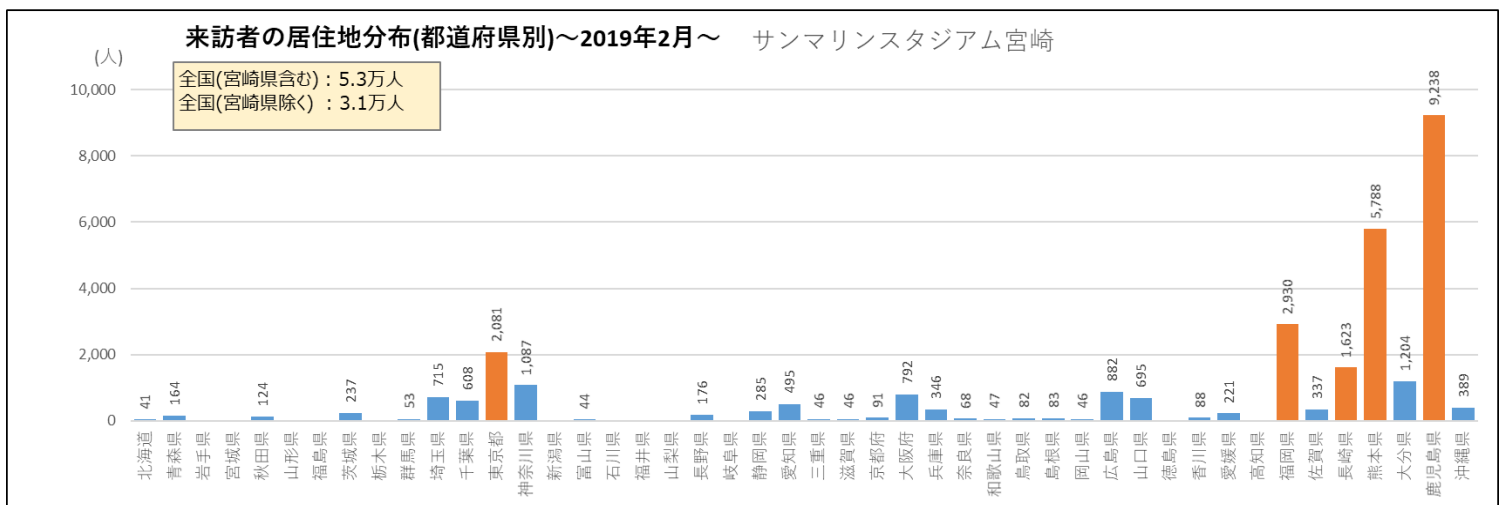
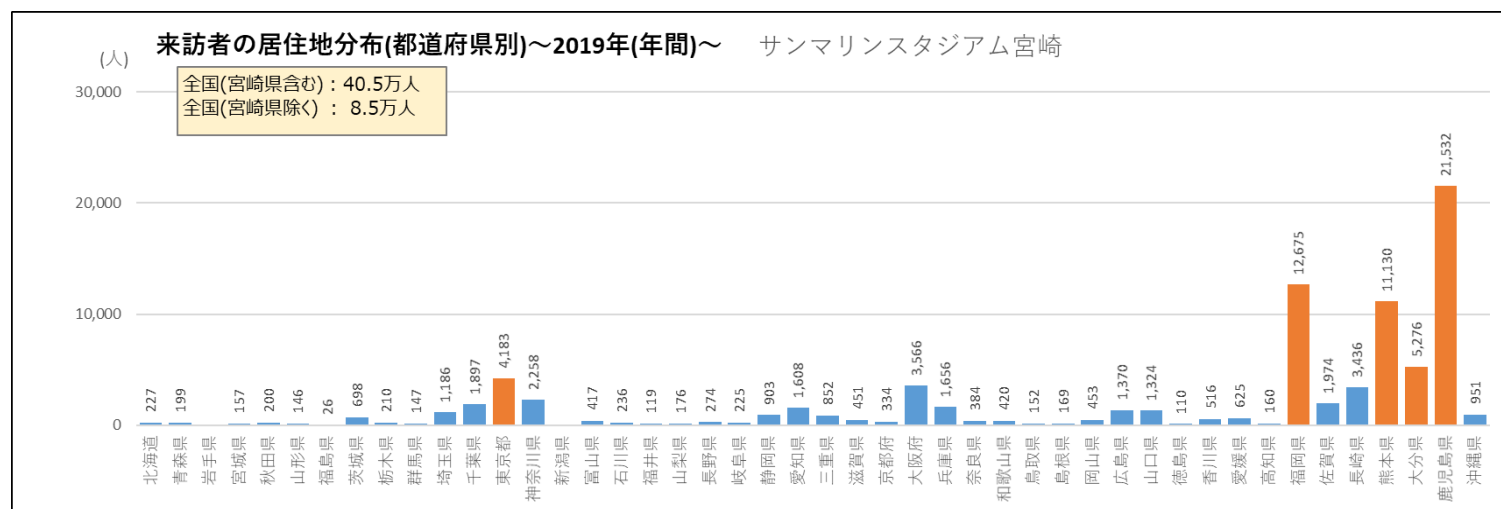
・当地は、福岡ソフトバンクホークスのキャンプ地となっている場所であるが、1年間の県外来訪者9.0万人のうち、2月に6.0万人、割合にして7割程度が2月に集中していることになる。球団の性質上、福岡からの来訪者が集中しているが、2月だけで3千人以上の来訪者が関東圏からも来訪している。



(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

2-2-2. スポーツ(プロ野球キャンプ)施設関連調査(サンマリンスタジアム)

- ・同じくスポーツ関連で、サンマリンスタジアム宮崎への県外来訪者数について分析したのが下表である。
- ・生目の森運動公園ほどではないものの、2019年1年間の県外来訪者（8.5万人）のうち、2月に3.1万人、割合にして約4割弱の県外来訪者が来訪していることが分かる。
- ・同施設では、12月の青島太平洋マラソン等県外からも来訪が見込まれるイベントを複数実施しているが、今後宮崎県として各種イベント等を実施・誘致が予定される中、生目の森運動公園と同じく通年での更なる施設の活用が期待される。

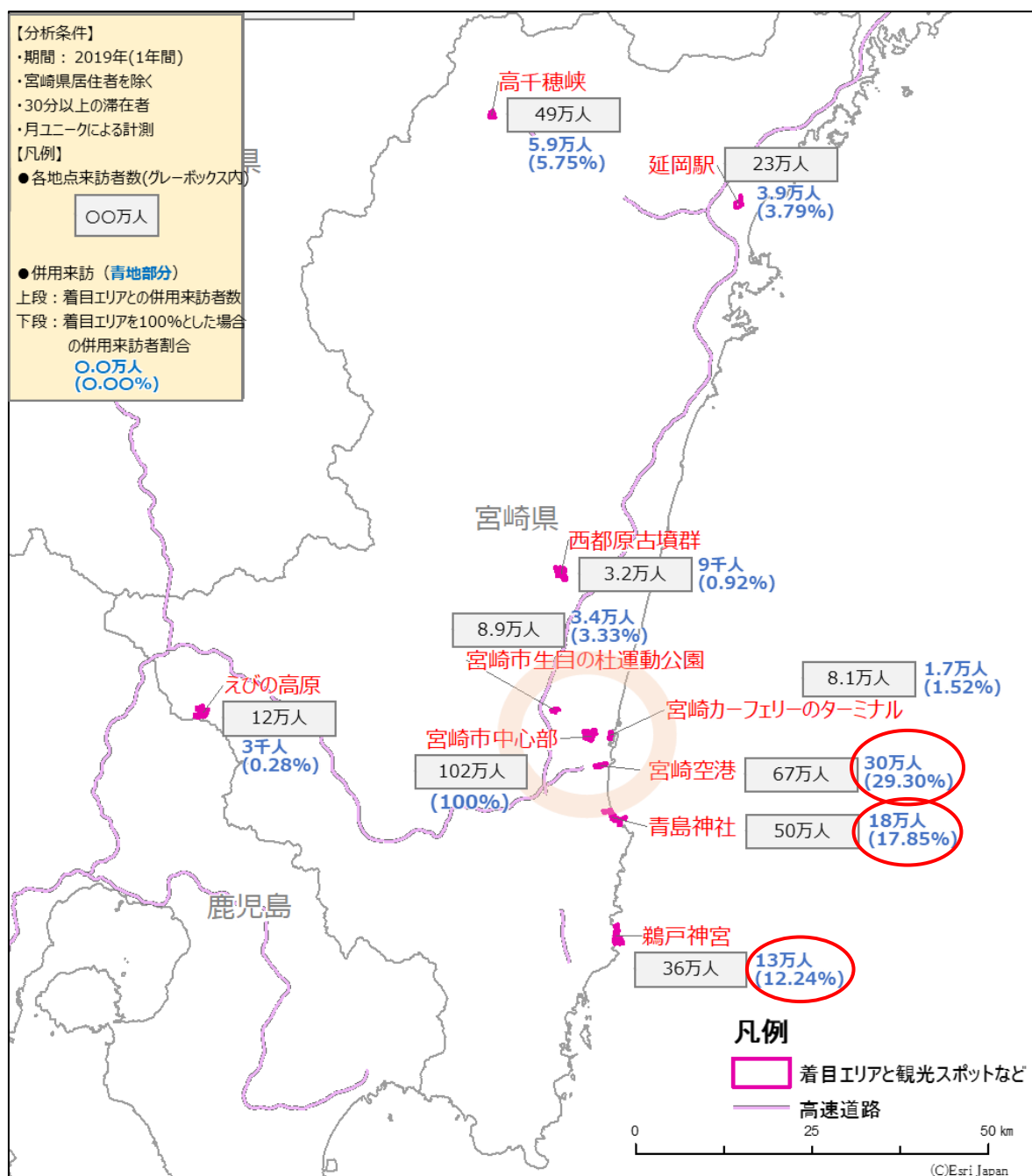


(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

3.（補足データ集）エリアごとの周遊動向 及び周遊者の属性分析等

データ① 宮崎市中心部への来訪者における周遊動向（P7の詳細）

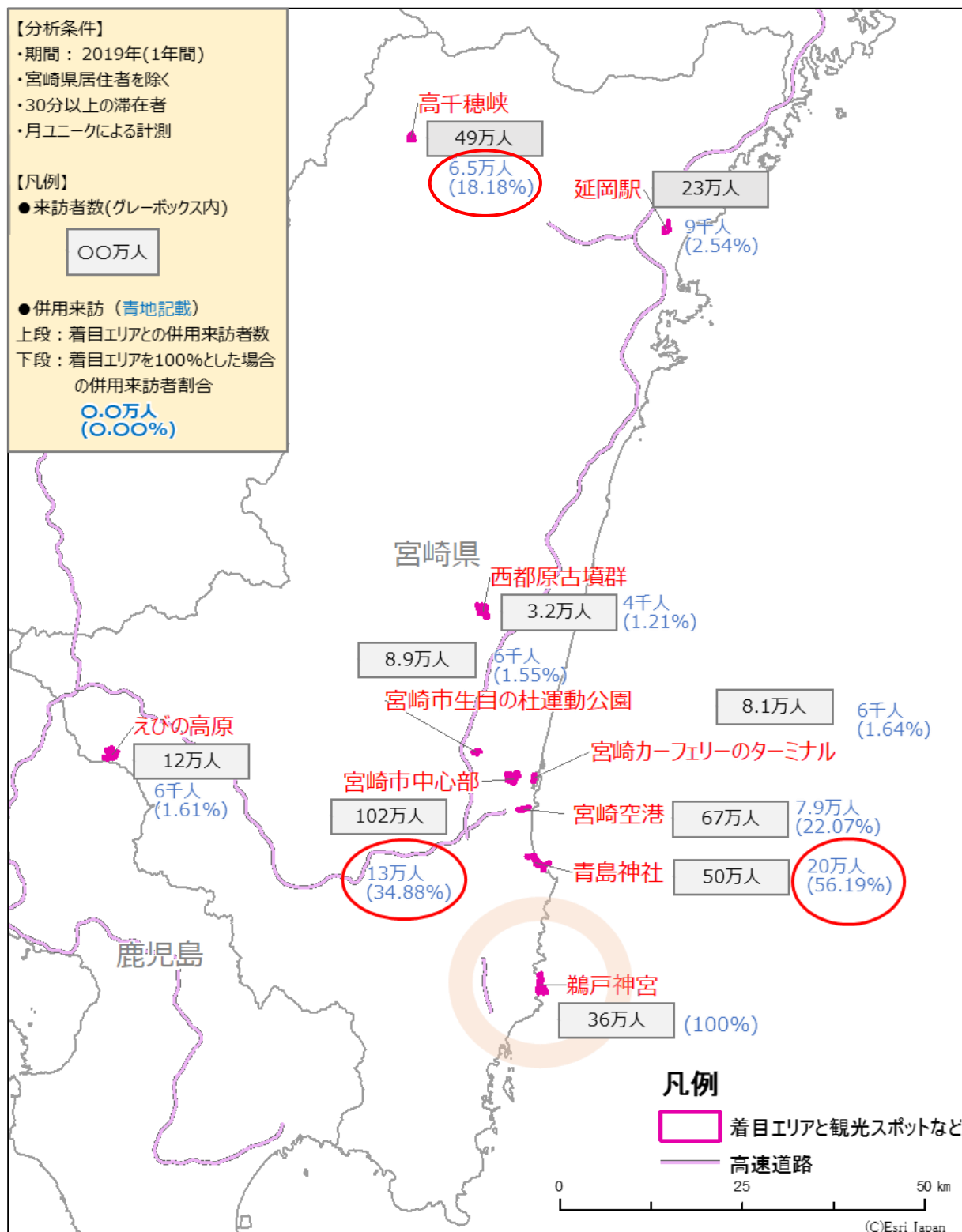
- ・下記マップは宮崎市中心部への来訪者における宮崎県内各地との周遊動向をまとめたものである。
- ・宮崎市中心部として、ビジネス目的の来訪者も含め母数が多く周遊率としては低くなる傾向があるが、宮崎市中心部への来訪者における各地との周遊率は鶴戸神宮約12.2%、青島神社へ約17.9%、高千穂峡へ5.8%となっている。
- ・宮崎市中心部への来訪者における宮崎空港との周遊率は約30%（30万人程度）であり、宮崎空港への県外来訪者（67万人）のうち、半数程度しか宮崎市中心部へ来訪していないことが分かる。宮崎空港と中心部の距離的な近さを知らない来訪者も一定いると思料されるが、空港⇄中心部との周遊（宿泊や食事）促進、空港施設で現在も行っている宮崎の食事やイベント等により宮崎らしさを手軽に感じてもらうことで、満足度向上につながると思料される。



(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

データ② 鵜戸神宮への来訪者における周遊動向（P7の詳細）

- ・下記マップは鵜戸神宮への来訪者における宮崎県内各地との周遊動向をまとめたものである。
- ・鵜戸神宮への来訪者における各地との周遊率は、青島神社：56%、宮崎市中心部：35%程度であり、県南(鵜戸神宮)⇄県央(青島神社、宮崎中心部)の相応の周遊を確認できる。



(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

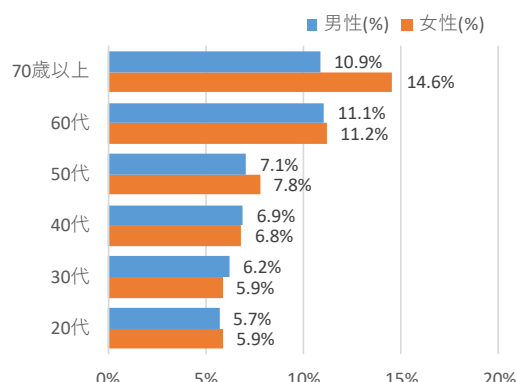
データ③ 高千穂・鶴戸神宮への県外来訪者の属性分析、

高千穂峡への来訪者における「鶴戸神宮」との属性別周遊率（再掲）

- ・下表は、高千穂峡・鶴戸神宮への県外来訪者の属性、高千穂峡への来訪者における鶴戸神宮との属性別周遊率についてまとめている。
- ・高千穂峡への来訪者の特性としては、大きな偏りはないものの60代以上の年齢層が多くなっており、鶴戸神宮への来訪者の場合は、ほとんど世代別では偏りはない形となっている。
- ・高千穂峡への来訪者における「鶴戸神宮」との属性別周遊率については、全体では13.4%程度。世代別では、特に20代女性の周遊率が高くなっている。

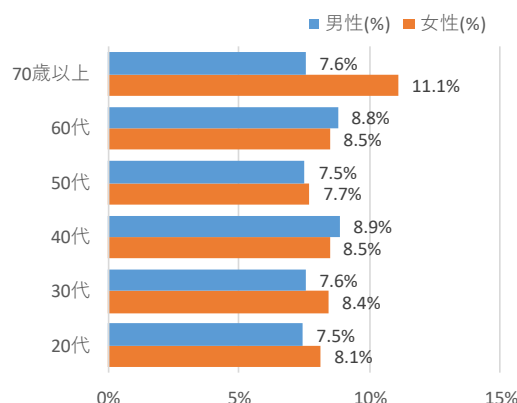
【高千穂峡（着目エリア）への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,550	58,843	6.23%	5.87%
40代	33,683	33,245	66,928	6.92%	6.83%
50代	34,510	37,843	72,353	7.09%	7.78%
60代	53,761	54,407	108,168	11.05%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.87%	14.57%
合計	232,946	253,558	486,504	47.88%	52.12%



【鶴戸神宮への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	26,731	29,171	55,902	7.45%	8.13%
30代	27,109	30,232	57,341	7.56%	8.43%
40代	31,789	30,353	62,142	8.86%	8.46%
50代	27,003	27,646	54,649	7.53%	7.71%
60代	31,491	30,415	61,906	8.78%	8.48%
70歳以上	27,109	39,745	66,854	7.56%	11.08%
合計	171,232	187,562	358,794	47.72%	52.28%

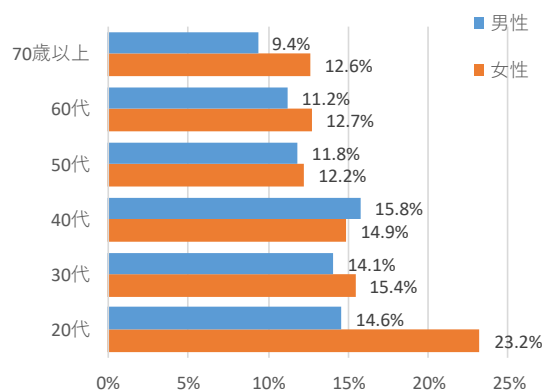


【高千穂峡来訪者における鶴戸神宮との属性別周遊率※】

全体周遊率：13.41%

年代	男性	女性	性別合計
20代	14.59%	23.22%	18.97%
30代	14.08%	15.43%	14.73%
40代	15.77%	14.89%	15.34%
50代	11.85%	12.25%	12.05%
60代	11.22%	12.72%	11.98%
70歳以上	9.37%	12.64%	11.25%
合計	12.33%	14.40%	13.41%

（※周遊率＝両地点併用来訪者／着目エリア（高千穂峡）の来訪者）



（出典）「KDDI Location Analyzer」より作成

データ④ 宮崎市中心部・高千穂峡・鶴戸神宮への県外来訪者の属性分析、

宮崎市中心部への来訪者における「高千穂峡・鶴戸神宮」との属性別周遊率

- 下表は、宮崎市中心部・高千穂峡・鶴戸神宮への県外来訪者の属性、宮崎市中心部への来訪者における高千穂峡・鶴戸神宮との属性別周遊率についてまとめている。
- 宮崎市中心部への来訪者の特性は、ビジネス来訪数も多いと思料され、30代～50代の男性の割合が高い。
- 宮崎市中心部への来訪者における高千穂峡との周遊率については、全体では5.8%。ビジネス目的での来訪者が多いと思料される30代～50代の男性の周遊率は低くなっている。20代（特に女性）の周遊率はやや高い。
- 宮崎市中心部への来訪者における鶴戸神宮との周遊率については、全体では12.2%。高千穂峡のケースと同じく30代～50代の男性の周遊率は低くなっている。

【宮崎市街地(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	103,794	74,119	177,913	10.15%	7.25%
30代	118,102	60,976	179,078	11.55%	5.96%
40代	141,531	67,539	209,070	13.84%	6.61%
50代	130,000	56,946	186,946	12.72%	5.57%
60代	90,696	52,482	143,178	8.87%	5.13%
70歳以上	67,682	58,451	126,133	6.62%	5.72%
合計	651,805	370,513	1,022,318	63.76%	36.24%

【宮崎市街地(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	103,794	74,119	177,913	10.15%	7.25%
30代	118,102	60,976	179,078	11.55%	5.96%
40代	141,531	67,539	209,070	13.84%	6.61%
50代	130,000	56,946	186,946	12.72%	5.57%
60代	90,696	52,482	143,178	8.87%	5.13%
70歳以上	67,682	58,451	126,133	6.62%	5.72%
合計	651,805	370,513	1,022,318	63.76%	36.24%

【高千穂峡への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,550	58,843	6.23%	5.87%
40代	33,683	33,245	66,928	6.92%	6.83%
50代	34,510	37,843	72,353	7.09%	7.78%
60代	53,761	54,407	108,168	11.05%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.87%	14.57%
合計	232,946	253,558	486,504	47.88%	52.12%

【鶴戸神宮への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	26,730	29,170	55,900	7.45%	8.13%
30代	27,109	30,232	57,341	7.56%	8.43%
40代	31,788	30,352	62,140	8.86%	8.46%
50代	27,002	27,645	54,647	7.53%	7.71%
60代	31,490	30,414	61,904	8.78%	8.48%
70歳以上	27,108	39,745	66,853	7.56%	11.08%
合計	171,227	187,558	358,785	47.72%	52.28%

【宮崎市中心部来訪者における高千穂峡との属性別周遊率※】

全体周遊率：5.75%

年代	男性	女性	性別合計
20代	6.69%	9.79%	7.98%
30代	4.64%	6.31%	5.21%
40代	4.18%	7.06%	5.11%
50代	3.60%	7.19%	4.69%
60代	5.47%	5.94%	5.64%
70歳以上	7.15%	4.97%	6.14%
合計	5.03%	7.01%	5.75%

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア（宮崎市中心部）の来訪者)

【宮崎市中心部来訪者における鶴戸神宮との属性別周遊率※】

全体周遊率：12.24%

年代	男性	女性	性別合計
20代	10.32%	17.88%	13.47%
30代	9.74%	18.06%	12.57%
40代	9.29%	17.02%	11.79%
50代	7.84%	15.66%	10.23%
60代	11.75%	15.23%	13.02%
70歳以上	10.86%	15.22%	12.88%
合計	9.75%	16.62%	12.24%

(周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(宮崎中心部)の来訪者)

データ⑤-1 高千穂峡・別府への県外来訪者の属性分析、

高千穂峡への来訪者における「別府」との属性別周遊率

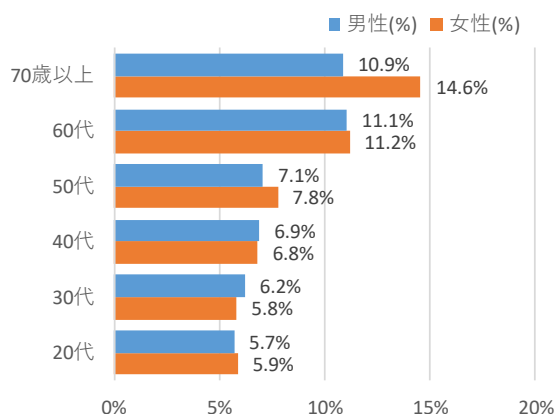
・下表は、高千穂峡・別府への県外来訪者の属性、高千穂峡への来訪者における別府との属性別周遊率についてまとめている。

・別府への県外来訪者（宮崎県居住者を除く）の特性について、温泉街ということもあり70代以上の女性の割合が若干高いものの、その他の性別・世代に特段の偏りはないことがわかる。

・高千穂峡への来訪者における別府との属性別周遊率については、全体で約8.1%であり、属性別の周遊率では、20代が高いことが分かり、その他の世代は6~7%程度になっている。

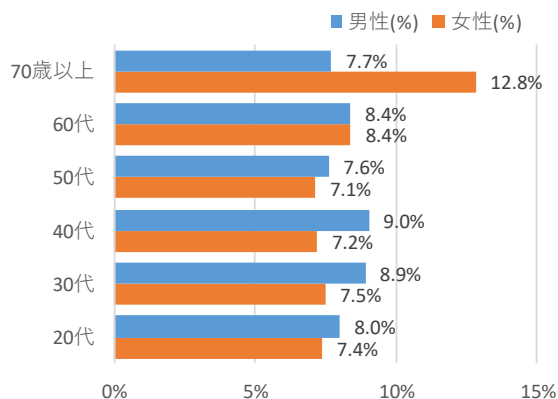
【高千穂峡(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,400	58,693	6.23%	5.84%
40代	33,636	33,245	66,881	6.92%	6.84%
50代	34,510	37,843	72,353	7.10%	7.78%
60代	53,761	54,340	108,101	11.06%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.88%	14.58%
合計	232,899	253,341	486,240	47.90%	52.10%



【別府への来訪者属性】

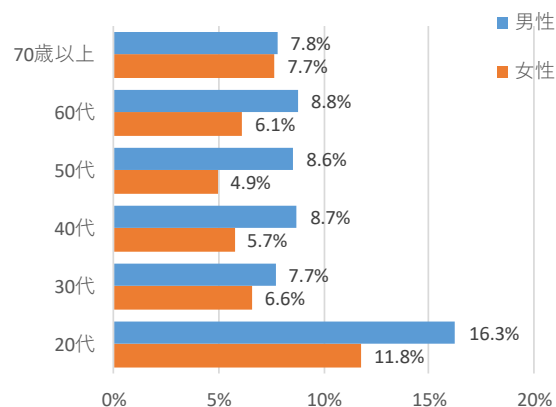
年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	287,717	265,344	553,061	7.99%	7.37%
30代	320,241	269,446	589,687	8.90%	7.49%
40代	324,879	259,202	584,081	9.03%	7.20%
50代	273,999	256,586	530,585	7.61%	7.13%
60代	301,556	302,110	603,666	8.38%	8.39%
70歳以上	277,240	461,148	738,388	7.70%	12.81%
合計	1,785,632	1,813,836	3,599,468	49.61%	50.39%



【高千穂峡来訪者における別府との属性別周遊率※】

全体周遊率：8.10%

年代	男性	女性	性別合計
20代	16.29%	11.76%	13.99%
30代	7.71%	6.58%	7.16%
40代	8.74%	5.74%	7.25%
50代	8.56%	4.95%	6.67%
60代	8.78%	6.12%	7.44%
70歳以上	7.80%	7.66%	7.72%
合計	9.27%	7.01%	8.10%



(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア（高千穂峡）の来訪者)

(出典) 「KDDI Location Analyzer」より作成

データ⑤-2 高千穂峡・黒川温泉・湯布院への県外来訪者の属性分析

高千穂峡への来訪者における「黒川温泉・湯布院」との属性別周遊率

- ・下表は、高千穂峡・黒川温泉・湯布院への県外来訪者の属性、高千穂峡への来訪者における黒川温泉・湯布院との属性別周遊率についてまとめている。
- ・黒川温泉・湯布院への県外来訪者（宮崎県居住者を除く）の特性について、温泉地という特性もあり、60代以上の割合が若干高くなっているものの、その他の性別・世代に特段の偏りはないことがわかる。
- ・高千穂峡への来訪者における黒川温泉・湯布院との属性別周遊率については、黒川温泉は9.9%程度であるも、湯布院は18.5%程度であり高い周遊率となっている。属性別では、両地点ともに60代以上の周遊率が高い。

【高千穂峡(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,400	58,693	6.23%	5.84%
40代	33,636	33,245	66,881	6.92%	6.84%
50代	34,510	37,843	72,353	7.10%	7.78%
60代	53,761	54,340	108,101	11.06%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.88%	14.58%
合計	232,899	253,341	486,240	47.90%	52.10%

【高千穂峡(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	27,819	28,632	56,451	5.72%	5.89%
30代	30,293	28,400	58,693	6.23%	5.84%
40代	33,636	33,245	66,881	6.92%	6.84%
50代	34,510	37,843	72,353	7.10%	7.78%
60代	53,761	54,340	108,101	11.06%	11.18%
70歳以上	52,880	70,881	123,761	10.88%	14.58%
合計	232,899	253,341	486,240	47.90%	52.10%

【黒川温泉への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	36,473	35,313	71,786	7.82%	7.58%
30代	36,580	31,727	68,307	7.85%	6.81%
40代	34,770	29,724	64,494	7.46%	6.38%
50代	35,255	36,944	72,199	7.56%	7.93%
60代	50,492	45,161	95,653	10.83%	9.69%
70歳以上	43,107	50,595	93,702	9.25%	10.85%
合計	236,677	229,464	466,141	50.77%	49.23%

【湯布院への来訪者属性】

年代	来訪者数（人）			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	140,787	149,763	290,550	7.19%	7.65%
30代	148,673	142,491	291,164	7.59%	7.27%
40代	151,565	134,161	285,726	7.74%	6.85%
50代	148,428	146,109	294,537	7.58%	7.46%
60代	185,093	196,186	381,279	9.45%	10.02%
70歳以上	173,644	241,962	415,606	8.86%	12.35%
合計	948,190	1,010,672	1,958,862	48.41%	51.59%

【高千穂峡来訪者における黒川温泉との属性別周遊率※】

全体周遊率：9.93%

年代	男性	女性	性別合計
20代	7.28%	6.88%	7.08%
30代	6.23%	7.24%	6.72%
40代	5.89%	6.24%	6.07%
50代	6.63%	9.52%	8.14%
60代	12.10%	13.34%	12.72%
70歳以上	12.15%	14.45%	13.47%
合計	9.06%	10.73%	9.93%

（※周遊率＝両地点併用来訪者/着目エリア(高千穂峡)の来訪者）

【高千穂峡来訪者における湯布院との属性別周遊率※】

全体周遊率：18.49%

年代	男性	女性	性別合計
20代	12.03%	11.33%	11.68%
30代	10.46%	14.13%	12.24%
40代	10.37%	9.11%	9.74%
50代	13.99%	15.52%	14.79%
60代	22.77%	26.44%	24.61%
70歳以上	26.67%	25.69%	26.11%
合計	17.68%	19.24%	18.49%

（※周遊率＝両地点併用来訪者/着目エリア(高千穂峡)の来訪者）

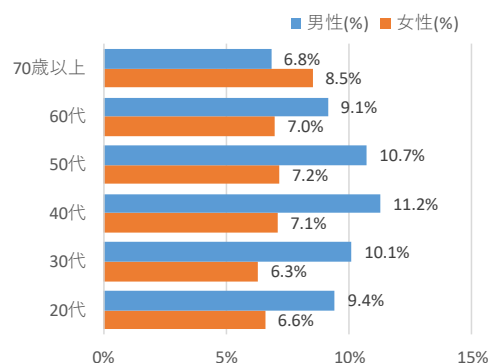
データ⑥-1 鹿児島市中心部・指宿への県外来訪者の属性分析、

鹿児島市中心部への来訪者における「指宿」との属性別周遊率

- ・下表は、鹿児島市中心部・指宿への県外(鹿児島県居住者以外)の来訪者の属性、鹿児島市中心部への来訪者における指宿との属性別周遊率についてまとめている。
- ・鹿児島市中心部の来訪者の特性は、ビジネス目的の来訪者も多いと思料され、宮崎市中心部と同様に30代～50代の男性の割合が高い傾向にある。
- ・指宿への来訪者の特性は、温泉地という特徴もあり60代以上の世代が男女とも多くなっている。
- ・鹿児島市中心部への来訪者における指宿との属性別周遊率は全体で12.1%、60代以上の周遊率が他世代より比較的高い。

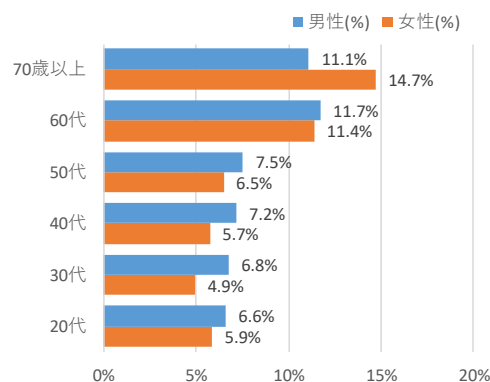
【鹿児島市中心部(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	198,320	138,360	336,680	9.42%	6.57%
30代	212,376	132,365	344,741	10.09%	6.29%
40代	236,749	149,110	385,859	11.25%	7.08%
50代	225,250	150,525	375,775	10.70%	7.15%
60代	192,302	146,616	338,918	9.14%	6.97%
70歳以上	143,638	179,051	322,689	6.82%	8.51%
合計	1,208,635	896,027	2,104,662	57.43%	42.57%



【指宿への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	29,471	26,171	55,642	6.61%	5.87%
30代	30,140	22,060	52,200	6.76%	4.95%
40代	32,014	25,603	57,617	7.18%	5.74%
50代	33,584	28,881	62,465	7.54%	6.48%
60代	52,220	50,677	102,897	11.72%	11.37%
70歳以上	49,431	65,453	114,884	11.09%	14.69%
合計	226,860	218,845	445,705	50.90%	49.10%

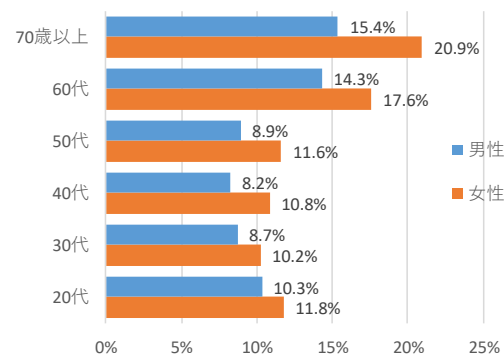


【鹿児島市中心部来訪者における指宿との属性別周遊率※】

全体周遊率：12.11%

年代	男性	女性	性別合計
20代	10.31%	11.76%	10.91%
30代	8.70%	10.23%	9.29%
40代	8.25%	10.83%	9.25%
50代	8.91%	11.61%	9.99%
60代	14.30%	17.57%	15.72%
70歳以上	15.39%	20.93%	18.46%
合計	10.60%	14.14%	12.11%

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(鹿児島市中心部)の来訪者)



(出典) 「KDDI Location Analyzer」より作成

データ⑥-2 鹿児島市中心部・霧島温泉街・霧島神宮付近への県外来訪者属性分析

鹿児島市中心部への来訪者における「霧島両エリア」との属性別周遊率

- ・下表は、鹿児島市中心部・霧島温泉街・霧島神宮付近への県外(鹿児島県居住者以外)来訪者の属性、鹿児島市中心部への来訪者における霧島温泉街・霧島神宮付近との属性別周遊率についてまとめている。
- ・霧島温泉街への来訪者の特性は、温泉エリアということもあり、60代以上の割合が高い。
- ・霧島神宮付近への来訪者の特性は、70歳以上の女性の割合が高くなっているが、霧島神宮付近の高千穂牧場等も対象エリアに含んでいることもあり、他世代においては特段の偏りはない。
- ・鹿児島市中心部への来訪者における霧島温泉街・霧島神宮付近との属性別周遊率については、全体で3～4%程度。属性別の周遊率は、霧島温泉街は60代以上の世代が多く、霧島神宮は特段の偏りはない。

【鹿児島市中心部(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	198,320	138,360	336,680	9.42%	6.57%
30代	212,376	132,365	344,741	10.09%	6.29%
40代	236,749	149,110	385,859	11.25%	7.08%
50代	225,250	150,525	375,775	10.70%	7.15%
60代	192,302	146,616	338,918	9.14%	6.97%
70歳以上	143,638	179,051	322,689	6.82%	8.51%
合計	1,208,635	896,027	2,104,662	57.43%	42.57%

【鹿児島市中心部(着目エリア)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	198,320	138,360	336,680	9.42%	6.57%
30代	212,376	132,365	344,741	10.09%	6.29%
40代	236,749	149,110	385,859	11.25%	7.08%
50代	225,250	150,525	375,775	10.70%	7.15%
60代	192,302	146,616	338,918	9.14%	6.97%
70歳以上	143,638	179,051	322,689	6.82%	8.51%
合計	1,208,635	896,027	2,104,662	57.43%	42.57%

【霧島温泉街(34.7万人)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	18,560	14,950	33,510	5.35%	4.31%
30代	20,082	17,818	37,900	5.79%	5.13%
40代	21,557	19,622	41,179	6.21%	5.65%
50代	25,575	26,251	51,826	7.37%	7.57%
60代	37,898	39,988	77,886	10.92%	11.52%
70歳以上	43,575	61,124	104,699	12.56%	17.61%
合計	167,247	179,753	347,000	48.20%	51.80%

【霧島神宮付近(23.6万人)への来訪者属性】

年代	来訪者数(人)			構成比率(男女合計を母数)	
	男性	女性	性別合計	男性(%)	女性(%)
20代	16,422	19,374	35,796	6.95%	8.20%
30代	22,477	20,474	42,951	9.52%	8.67%
40代	16,241	20,349	36,590	6.88%	8.62%
50代	15,470	15,941	31,411	6.55%	6.75%
60代	20,918	20,967	41,885	8.86%	8.88%
70歳以上	17,899	29,669	47,568	7.58%	12.56%
合計	109,427	126,774	236,201	46.33%	53.67%

【鹿児島市中心部来訪者における霧島温泉街との属性別周遊率※】

全体周遊率：4.44%

年代	男性	女性	性別合計
20代	3.58%	3.61%	3.59%
30代	3.74%	3.52%	3.66%
40代	3.10%	3.91%	3.41%
50代	3.41%	5.64%	4.30%
60代	4.68%	6.09%	5.29%
70歳以上	6.49%	6.80%	6.66%
合計	4.00%	5.03%	4.44%

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(鹿児島市中心部)の来訪者)

【鹿児島市中心部来訪者における霧島神宮付近との属性別周遊率※】

全体周遊率：3.01%

年代	男性	女性	性別合計
20代	2.89%	4.54%	3.57%
30代	3.12%	2.85%	3.02%
40代	2.18%	3.30%	2.61%
50代	1.93%	3.05%	2.38%
60代	2.67%	2.82%	2.74%
70歳以上	2.68%	4.86%	3.89%
合計	2.55%	3.62%	3.01%

(※周遊率=両地点併用来訪者/着目エリア(鹿児島市中心部)の来訪者)

(出典)「KDDI Location Analyzer」より作成

データ⑦. (参考) インバウンド調査アンケート

- ・下表は、都道府県や主要エリアに対する国別の認知度をまとめたものである。
- ・観光地としての認知度が、他都道府県に比して高いところから順にオレンジ色、緑色、青色でハイライトしているが、鹿児島・宮崎・熊本はアジア圏の認知度は、地理的近さやゴルフ等の影響もあり韓国、中国、台湾等は高い。
- ・タイ・シンガポール等南アジアについては共通して低いことに加え、欧米豪の認知度は鹿児島・宮崎・熊本・大分ともに現状低く、旅行者の希望する滞在日数も8日や12日と長い中で、東京や京都等の国内の主要なエリアの周遊に加えて、4日～5日程度での周遊をP9記載の①、②ルートにて促進する取組も想定される。

(回答はあてはまるものすべて、都道府県別認知度：単位：%)

	地域・国											
	全 ア シ ア							全 欧 米 豪				
		韓 国	中 国	台 湾	香 港	タイ	ル ボ ガ シ ン		米 国	豪 州	英 国	仏 国
全体回答数(単位：数)	4,201	517	543	512	527	518	521	2,106	524	526	529	527
平均希望滞在日数(単位：日数)	8.2	5.3	7.7	6.9	7.6	8.0	10.1	12.8	10.8	12.5	12.9	15.1
東京	64	69	52	78	73	61	58	47	44	48	52	43
北海道	59	57	55	81	73	54	59	14	11	21	12	10
京都	58	63	51	78	71	58	50	27	23	30	28	26
沖縄	48	50	42	77	68	37	39	19	24	20	16	14
広島	38	40	34	53	43	38	30	29	25	32	33	26
福岡／博多／小倉	34	50	29	58	52	28	19	6	5	11	4	5
長崎／佐世保	31	32	35	50	43	26	18	18	16	19	19	17
鹿児島	27	24	32	62	61	10	12	4	4	4	5	2
宮崎	25	22	32	50	51	15	10	4	4	3	4	4
熊本／阿蘇	22	15	21	55	55	9	9	3	4	3	3	2
仙台／松島	22	15	26	47	39	20	11	3	3	4	3	2
金沢	14	7	8	34	30	14	8	4	3	5	5	2
大分／別府／湯布院	13	24	6	25	27	9	8	3	3	3	2	2
高松／香川	10	6	14	19	20	8	5	3	5	4	3	2

※出典（認知度）：2022年度版 DBJ・JTBF、アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査

※出典（平均滞在日数）：2021年度 DBJ・JTBF、アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（第3回新型コロナ影響度 特別調査）

4. GPS位置情報ビッグデータ 分析ツールと分析条件について

4-1. GPS位置情報ビッグデータ分析ツールと分析条件①

- ・本分析では、GPS位置情報ビッグデータ分析ツールとして、技研商事インターナショナル株式会社の「KDDI Location Analyzer」（以下、KLA）を使用している。
- ・KLAでは、KDDIがauスマートフォンユーザー同意のもとで取得し、誰の情報であるかわからない形式に加工した位置情報データおよび属性情報（性別・年齢層等）を活用している。属性情報は国勢調査等を基に拡大推計処理を実施している。

No	項目	仕様
1	GPSデータの元情報	国内居住者の数百万人のau携帯所有者から個別同意を得たもの。
2	分析対象のデータ期間	2019年1月1日～2019年12月31日（コロナ前） ※ただし、適宜範囲を切り替えて推移なども参照
3	滞在時間	30分 （集計スポットによっては、変更する場合あり） ユーザー（携帯所有者）が当該スポットに留まったとする最低の時間。30分以上の滞在時間で、当該スポットの来訪者として計上される。
4	1日の時間帯	KLAデフォルトの5:00～29:00を採用
5	当該スポットの居住者を除くための条件	<宮崎県内の観光スポット> ・宮崎県の居住者であった場合、集計対象から除外し、来訪者数を集計。 <宮崎県外の観光スポット> 対象：「高千穂峡」来訪者における県外との周遊動向等を調査するため、阿蘇くまもと空港、黒川温泉、湯布院、別府での集計 ・宮崎県の居住者であった場合、集計対象から除外 ・宮崎県の居住者以外については、当該スポットに月当たり5日以上来訪するユーザーは、当該スポットの居住者か勤務者である可能性が高いため、集計対象から除外。（ただし、大分県や熊本県の居住者で当該スポットに月あたり5回以上来訪しない形での旅行等での来訪者は集計されている。） <鹿児島県内の観光スポット> 対象：鹿児島市中心部、指宿、霧島温泉街、霧島神宮付近での集計 ・鹿児島県の居住者であった場合、集計対象から除外 <霧島エリアから「宮崎市中心部」との周遊動向について> 対象：霧島温泉街、霧島神宮付近（以下、霧島両エリア）への来訪者における「宮崎市中心部」との周遊動向の集計 ・鹿児島県の居住者であった場合、集計対象から除外 ・鹿児島県の居住者以外については、当該スポットに月当たり5日以上来訪するユーザーは、当該スポットの居住者か勤務者である可能性が高いため、集計対象から除外。 ・霧島両エリアへの来訪者における宮崎市中心部との周遊者数には、「宮崎市中心部」への月あたり5日以上来訪するユーザー以外の宮崎県居住者を含むため、周遊者数が多く集計されている可能性がある。（宮崎市中心部以外の宮崎県の居住者が霧島両エリアに来訪後同月内に宮崎市中心部に来訪した場合等）

4-2. GPS位置情報ビッグデータ分析ツールと分析条件②

No	項目	仕様
6	集計エリアの面積上限	着目エリアと県内の周遊候補先等2つのスポットを集計エリアとして設定し、併用来訪の集計などを実施する。 分析上、2つのスポットの面積合計が3km²以下となるようにし定義した。尚、主要観光スポットのエリア定義は、末尾に取り纏めている。
7	期間内の来訪者数の集計方法	本分析では、月ユニークによる集計とした。 月ユニークでは、各月の中で、同一ユーザーが何回も同一エリアを訪れてもその月において、1回の来訪となる。 例) ①来訪者 Aさん 4/28:高千穂峡に来訪、高千穂町内宿泊 4/29:高千穂峡に来訪後、宮崎市街に来訪 ②来訪者 Bさん 5/1:宮崎空港に到着後、宮崎市街地宿泊 5/2:鶴戸神宮来訪後、宮崎市街地宿泊 5/3:高千穂峡に来訪、阿蘇くまもと空港利用 上記の場合、4月分の集計としては、 ・高千穂に来訪 1人 ・宮崎市街に来訪 1人 ・高千穂・宮崎市街に併用来訪 1人 5月の集計としては、 ・宮崎市街に来訪 1人 ・鶴戸神宮に来訪 1人 ・高千穂峡に来訪 1人 ・宮崎市街・宮崎空港に併用来訪 1人 ・宮崎市街・鶴戸神宮に併用来訪 1人 ・鶴戸神宮・高千穂峡に併用来訪 1人 ※ただし、4、11ページの来訪者推移（月次推移）に関しては、「日ユニーク※」による集計（KLA仕様）。 ※日ユニーク：1日の中で、同一ユーザーが何回も同一エリアを訪れてもその日において、1回の来訪 ※月次推移では、各月に3日来訪した場合、来訪者数3と計上される形となるため、その分多く計上されている可能性がある。

5. （参考）各エリアの対象エリア（地図）

5.着目エリアと主要観光スポットのエリア定義（地図上の定義）①

(1/3)

高千穂峡

・面積：0.56 km²



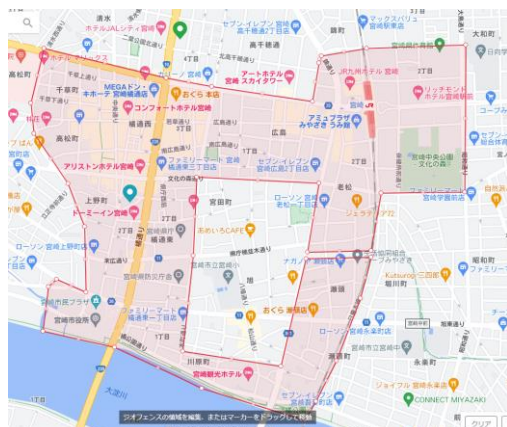
鵜戸神宮

・面積：1.31 km²



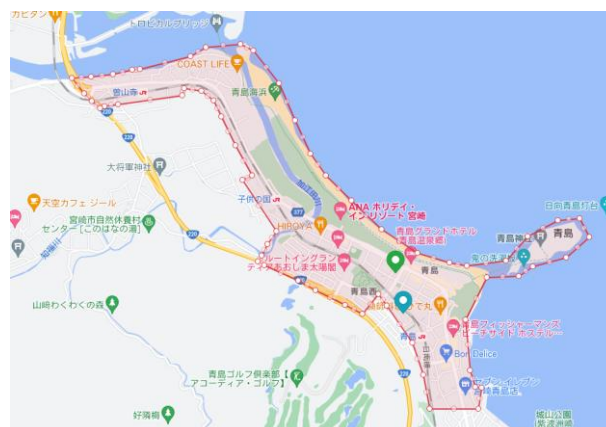
宮崎市中心部
(市街)

・面積：1.36 km²



青島神社

・面積：1.45 km²



宮崎空港

・面積：0.43 km²



延岡駅

・面積：0.81 km²



5.着目エリアと主要観光スポットのエリア定義（地図上の定義）②

(2/3)

西都原古墳群

・面積：1.42 km²



宮崎カーフェリーのターミナル

・面積：0.24 km²



宮崎市生目の杜運動公園

・面積：0.35 km²



えびの高原

・面積：1.46 km²



阿蘇くまもと空港

・面積：1.32 km²



湯布院

・面積：2.13 km²

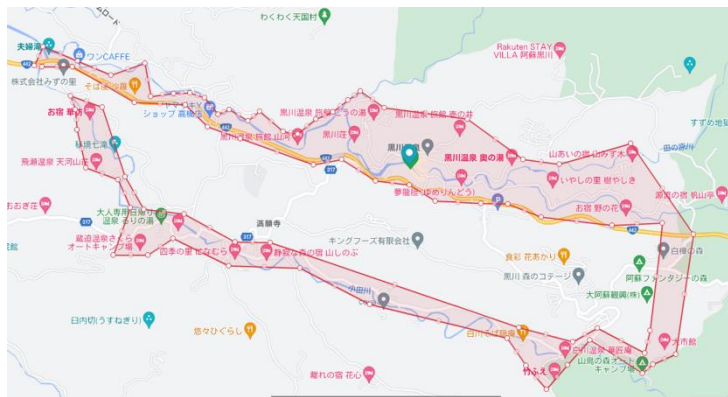


5.着目エリアと主要観光スポットのエリア定義（地図上の定義）③

(3/3)

黒川温泉

・面積：2.24 km²



鹿児島市中心部

・面積：1.41 km²



指宿

・面積：1.47 km²



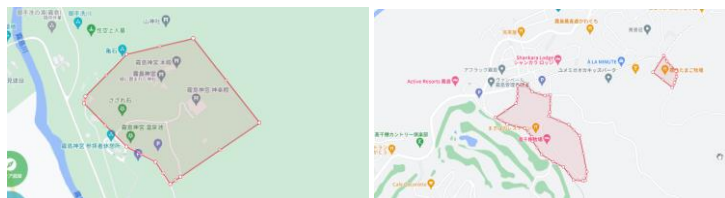
霧島温泉街

・面積：0.97 km²



霧島神宮付近

・面積：0.21 km²



サンマリンスタージア ム宮崎

・面積：1.27 km²



©Development Bank of Japan Inc.2023

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

文責：株式会社日本政策投資銀行 南九州支店 齊藤雄大
データ分析協力：DBJデジタルソリューションズ株式会社